

12月1日現在の人口 男1,712人 女1,761人 計3,473人(前月比 - 5) 転入13 転出12 出生2 死亡6 世帯数1,067(前月比 - 1)

## 杉並区広報誌に “北塩原村” が大きく紹介されました

村全体を杉並区民53万人の保養地として利用してもらい、杉並区をはじめ東京都、首都圏などに当村を大きくPRしてもらう目的で締結した「まるごと保養地協定」について、11月21日発行の区広報誌に「日本有数の観光地・裏磐梯を抱える北塩原村と保養地協定を締結」として大きく掲載されたほか、同区ホームページのトップページに保養地協定を紹介する記事が掲載されるなど、次々と北塩原村が紹介されています。

また、中学生の総合学習の実施地第一候補として当村が上げられており、12月7日には同区教育委員会の皆さんが視察に訪れました。

これらの取り組みを成功させた次の段階として、農産物を通じた交流をスタートさせることとなっています。

## 「足が軽くなったあ〜」と患者さんに好評!

### 肩こり・腰痛などに効く-南東北裏磐梯診療所 “低周波治療器”

村民の皆さん。「最近肩がこって...。」「腰痛がひどい」などのお悩みはありませんか?

今年8月に開院した南東北裏磐梯診療所では、これらの症状に効果のある最新鋭の「低周波治療器」が設置されています。膝の関節痛でお悩みの患者さんからは「気持ち良くなった。足が軽くなった」との声も聞かれるなど、大変好評です。

肩こり、腰痛の原因の一つは、座りっぱなしや立ちっぱなしなど、同じ姿勢を続けることによる筋肉のこり。身体に安全な低周波が、こわばった筋肉をほぐし、血流を促進、前述の症状に効果を発揮します。もちろん医療保険の対象です。



「低周波治療器で身体の元気を取り戻した後も、仕事合間のストレッチ、適度な運動を心がけて。温泉入浴も効果的ですよ」と話す大原宏夫医師と長津明子看護師



# 北塩原村消防団

## 秋季検閲

～火の守りの誓いを新たに～



北塩原村消防団秋季検閲が11月3日、団員・婦人消防隊・来賓・関係者約180人が参加し、実施されました。

検閲に先立ち、構造改善センター前での閲団式、分列行進に引き続き、村民グラウンドにおいて、無火災祈願、村長・団長訓示のあと、通常点検や規律訓練、機械器具点検が行われ、団員らほきびきびとした動きで日頃の訓練の成果を十分に発揮し、火の守りの誓いを新たにしていました。

同日、表彰伝達及び優良団員の表彰も行われ、引き続き退職婦人消防隊長等感謝状が贈られました。

来賓祝辞、受賞者代表謝辞のあと、放水訓練を行い検閲を終了しました。

<b>【表彰】</b> 北塩原村消防団優良団員表彰 第一分団 班長 穴澤 正徳 班長 渡部 達也 班長 渡部 武弘 班長 奥川 幸夫 班長 高橋 直幸 班長 千葉 昌幸 第二分団 班長 大竹 文夫 班長 関本 忠宏 班長 鈴木 俊也 班長 五十嵐廣志		<b>【伝達】</b> 叙勲(瑞宝双光章) 元団長 五十嵐好江 消防庁長官表彰 (平成16年3月4日) 永年勤続功労章 副団長 酒井 作男 副団長 齋藤喜代一 福島県消防表彰 (平成16年5月25日) 永年勤続章 副分団長 二瓶 睦夫 班長 柏谷 孝雄 班長 小椋 徳雄 元班長 小椋 良夫 財団法人日本消防協会定例表彰 (平成16年2月13日) 功績章 副団長 酒井 作男 勤続章 分団長 遠藤 俊一 分団長 小椋 政廣 副分団長 遠藤 正彦 団員 小椋 善和		財団法人福島県消防協会定例表彰 (平成16年5月25日) 精勲章 分団長 渡部 門 勤続章 副分団長 加勢 良信 副分団長 小椋 孝一 副分団長 佐藤 英雄 財団法人福島県消防協会喜多方支部定例表彰 (平成16年7月11日) 功績章 副分団長 鈴木万寿男 副分団長 加勢 良信 精勲章 副分団長 佐藤 稔 副分団長 石井 親弘 副分団長 五十嵐義宣 永年勤続章 班長 佐藤 誠一 班長 遠藤 友久 班長 高橋 幸司 班長 相原 和之 班長 鈴木 真人 班長 佐藤 正 親子表彰 団長(親) 酒井 作男 団員(子) 酒井 隆司 副団長(親) 齋藤喜代一 副分団長(親) 齋藤喜誉天 退職婦人消防隊長・副隊長感謝状贈呈 大塩婦人消防隊		隊長 高橋 早苗 副隊長 五十嵐ひろの 副隊長 五十嵐房子	
--	--	--	--	---	--	-------------------------------------	--

— 秋季全国火災予防運動 —

# 冬本番！火の元には十分注意してください！！

## 北塩原村消防団・防災訓練、防火パレードを実施

秋季全国火災予防運動（11月9日～15日）にちなんだ防災訓練は11月9日、村消防団主催により桧原歴史館において実施されました。

同館の厨房から出火し、附近の民家に延焼の恐れがあるという想定のもと、訓練が開始され、地区住民や婦人消防隊員による初期消火訓練や消防団員による放水訓練が、実践さながらに行われました。

また、村消防団による防火パレードも各地区において実施され、桧原・裏磐梯地区は9日、北山・大塩地区では14日にそれぞれ北塩原分署協力のもと、消防ポンプ自動車で村内各所をまわり、火災予防を呼びかけました。

冬本番を迎え、火を使うことが多くなりますので、火の元には十分に注意してください。



婦人消防隊員による放水訓練



### 福島県火災予防絵画・ポスターコンクール 五十嵐久佳くん（大塩小）の作品が入選

平成16年度福島県火災予防絵画・ポスターコンクールにおいて、五十嵐久佳くん（大塩小6年）の作品が優良作品として見事入選し、11月22日（月）喜多方地方広域市町村圏消防本部において、表彰の伝達式が行われました。おめでとうございます。

## 新潟県中越大震災

### 皆様より寄せられた救援金を小千谷市にお届けしました 村職員2人長期派遣 災害復旧活動に尽力中

10月23日に発生した新潟県中越大震災にかかる小千谷市（まるごと保養地協定を締結した杉並区と災害協定締結の市）への救援金については、皆様より心温まるご協力をいただきありがとうございます。村民、村議会、村各種委員・団体の皆様より寄せられました救援金（11月15日まで受付分）については、11月16日、高橋村長が小千谷市を訪問し、関広一市長に直接手渡してきました。

関市長は、「北塩原村の皆さんには、被災直後、真っ先に救援物資（食料・飲料水など）を届けていただいたほか、その後も支援いただき、本当に感謝しています。村民の皆さんに感謝のこぼれを伝えてほしい」また、他自治体などから派遣されるほとんどの職員が数日で帰庁してしまう中、11月8日から長期派遣している当村職員2人（産業政策課：渡部大志副技査、観光政策課：須藤裕三主事）に触れ、「長期間活動できる職員は大きな戦力で、大変助かります」と話されていました。村職員2人は主に、災害現場に出向き被災状況の調査、測量、復旧工事のための工法を検討するなどの業務に取り組んでいます。これらの経験により2人の職員がさらに成長することを期待しています。



◀陥没した道路を調査する  
渡部副技査（右端）



◀地盤の液状化現象により浮き上がったマンホールを調査する須藤主事

### 救援金について

村では引き続き救援金を受け付けています。役場本庁・裏磐梯合庁・桧原出張所、公民館、社会福祉協議会にお寄せください。

問い合わせ先  
住民ふれあい課 ☎ 23-3113



# ながいきくらぶ (高齢者健康教室)

## のお知らせ

毎年好評の「ながいきくらぶ」の季節がやってきました。  
あったかーい温泉に入って、体ポカポカのびのびの健康づくりをしましょう。

場 所 ラビスパ裏磐梯（現地集合）

東都バス乗車の際は、「健康づくり家族バス利用証」をご提示ください。

時 間 11時～14時

持ち物 入館料100円、タオル、お弁当代500円（希望者のみ）

### ながいきくらぶ（高齢者健康教室）日程

日 程	内 容
12月21日（火）	「高齢者に多い事故とその対策について」
1月25日（火）	「変形性膝関節症について」
2月22日（火）	「高齢者のストレッチ体操」
3月22日（火）	「歯と歯ぐきの健康管理について」

問い合わせ先 保健センター ☎28-3733

### 第4回

### 村長杯村民ふれあいゴルフ大会

今年で第4回を数える村長杯村民ふれあいゴルフ大会は、11月14日（日）に53人の参加を得て、昨年同様福島石川カントリークラブ（石川町）で開催されました。開会式まで小雨が降っていましたが、プレーに入ると雨も止み、参加者はプレーを楽しんでいました。

また、表彰式及び親睦会ではゴルフ談義に花を咲かせ、会場は和やかな雰囲気になっていました。

《結 果》

- 優 勝 近藤兵次さん
- 準優勝 遠藤昭衛さん
- 第3位 小椋茂一さん



優勝トロフィーを受け取る近藤兵次さん

### 第21回村長杯ゲートボール大会 大塩チームが優勝



去る10月22日（金）、4地区対抗の村長杯ゲートボール大会が北山ゲートボール場にて開催され、熱戦が繰り広げられました。

成績は次のとおりです。

- 優 勝 大塩チーム 得点52点
- 2 位 裏磐梯チーム 得点45点
- 3 位 北山チーム 得点44点
- 4 位 桧原チーム 得点27点

# 初顔合わせ2005

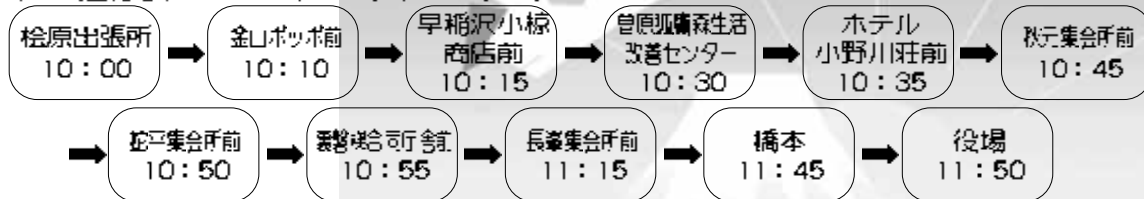
村では、平成17年の新春を迎えるにあたり、次により「初顔合わせ2005」を開催しますので、参加を希望される方は企画政策課までお申し込みください。

☎23-3111

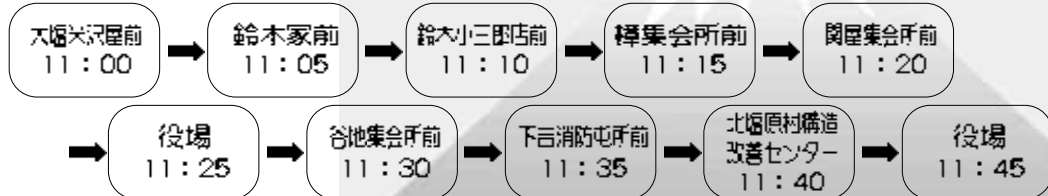
- ◆と き：平成17年1月4日（火）正午から
- ◆と ころ：北塩原村コミュニティセンターホール
- ◆会 費：1,000円
- ◆申込期限：12月24日（金）

マイクロバス運行表 どうぞ、ご利用ください。

## 1号車



## 2号車



冬季のため運行時刻が遅れる場合があります。ご了承願います。

# 北山・大塩・裏磐梯 文化祭



長寿会～踊り「安来節（おかめ・ひょっとこ・福の神）会場大盛り上がり!!

11月7日（日）、『北山文化祭』及び『大塩文化祭』が各小学校体育館で、11月12日（金）には、『裏磐梯文化祭』が自然環境活用センターで、それぞれ開催されました。

「午前の部」は幼稚園・小学校の学習発表、「午後の部」は中学校や各種団体の皆さんによる芸能発表が繰り広げられました。会場の展示コーナーには多数の作品が展示され、模擬店やバザーなども大盛況でした。

各会場では、小学校の児童会による「新潟県中越大地震」の救援金の募金活動や参加賞のタオルを被災地への救援物資とする協力も見られました。

芸術の秋、発表する人も、見る人も、芸術を思う存分楽しむ一日となりました。



松原婦人会～踊り「マツケンサンバ」でフィナーレを飾る!

◆郷土芸能保存会・大塩小6年生  
～郷土芸能「鳥追い・団子さし」を伝承

# やま報

## 夜間防犯診断を実施 自分たちで守ろう！ 犯罪のない安全で安心な地域

北塩原村防犯協会裏磐梯支部  
消防第4分団、防犯連絡所、裏  
磐梯駐在所連絡協議会の合同に  
よる夜間防犯診断を11月10日  
(水)夜8時から実施しました。  
各地区に別れて、家の戸締り  
や、車のキーの取り忘れ、ロッ  
クの不備など一軒一軒確認し、  
戸締りの重要性を呼びかけまし  
た。防犯協会裏磐梯支部では、  
自分たちの地域を自分たちで守  
るため毎月10日の「防犯の日」  
に防犯パトロー  
ルを行っており、  
今後も犯罪のな  
い安全で安心し  
て暮らせる地域  
づくりを目指し  
ます。



## 福島県内の最低賃金が 改正されました。

福島県の最低賃金が、下表のとおり改正されました。  
福島県内の事業場で使用されるすべての労働者（パート  
タイマー、アルバイト）に適用されます。

最低賃金（産業）名	最低賃金額 1時間	効力発生 年月日
福島県最低賃金 (下記5産業を除く全産業)	611円	16.10.1
非鉄金属製造業	715円	16.12.1
電気機械器具製造業	676円	
情報通信機械器具製造業		
電子部品・デバイス製造業	710円	
輸送用機械器具製造業	704円	
自動車小売業	703円	

詳しくは、福島労働局賃金室（☎024-536-4604）または、  
最寄りの労働基準監督署にお尋ねください。

福島労働局

## 年末年始の交通事故防止 県民総ぐるみ運動

平成16年 平成17年  
12月10日(金)～1月7日(金)

- 飲酒運転はどんな理由があっても絶対ダメ！
- 車のライトは早めに点灯！
- 夜間のおごかけは明るい色の服で  
※夜光反射材着用がおススメ
- シートベルト・チャイルドシートを  
必ずつけよう
- 運転中の携帯電話は絶対やめましょう！



### 北塩原短歌会

大塩 鈴木昭子  
故郷に錦飾りし功績は  
英世の香礼とかりにし  
上川前 斎藤 富子  
秋深く虫の音聴えて冬近  
日柳短か夕陽も早く  
大塩 六城セイ子  
収穫の喜びは酒に酔って大恩の  
太さと祝う隣りの人等  
大久保 富田 供子  
あんなにささやかな事を考えた  
壁にあたりて思案にくれる

松原 佐々木キミ子  
春を催はれば花は咲いて松原湖は  
白鳥の群舞かにたたよう  
北山 武藤敏子  
春の松の芽が乱れ飛ぶ鉄橋に  
子等と励むよ返せ上がり  
大塩 高橋 郁子  
六十路坂半は登りて見返れば  
何と徳ふか速まらぬ母か  
剣ヶ峯 斎藤トシ子  
親子猫必ず抱かせる橋の上  
回想持らて話にする間に  
大塩 高橋 末義  
春に萌え夏深き緑秋もみ  
飾りし衣脱ぎて冬待つ  
大塩 穴沢エミ子  
晩秋の土湯峠と夫と行く  
樹肌まはゆき白樺林

### 百合俳句会

羽入 幸恵  
メール打らホットドリンク冷めてたを  
緑洲の午後の柳地走冬日か  
山本 由江  
あれこれと手話に笑ひの未嫁  
内海 怜子  
南人形目もと涼しき遊女か  
中川 意子  
七五三祭雲の流れのとよまらず  
千葉 達子  
会津野の包みまわって春葉焚く







第47回

何事も自分自身の勉強

- 北塩原村赤十字奉仕団として活躍 -

星 玲子さん(北山)



「日赤が初めて奉仕活動を行ったのは裏磐梯(磐梯山噴火1888年)。今年の赤い羽根募金もこのエプロンをつけて五色沼駐車場で行いました」と話す玲子さん

奉仕団がスタートしました。

「諸先輩とともに活動することで、いろいろなことを身振り手振り教えていただき本当に感謝しています」と話す玲子さんは、今では磐青の会、赤十字奉仕団のほか、平成12・13年にはJA会津いいで女性部北塩原支部長を務められたほか、現在では保護司を務めるなど、さまざまな方面で活躍中です。玲子さんのお宅は専業農家で猫の手も借りたいぐらい忙しい毎日ですが、「夫(昭雄さん)の理解が深く、赤十字などの活動も自由にさせてもらっています」と玲子さんの活躍は旦那さんの協力抜きには語れないようです。

純粋な奉仕の心で活動を続ける玲子さん。何かと苦労も多いのではと思いますが、何事も自分自身の勉強と捉え取り組まれているようで、活動のたびに「また一つ覚えることが出来てよかったなぁ」と感じるのだからか。「活動を通して知り合った仲間との近況報告や、時にはお花見をするのがとても楽しいです」とにこやかな笑みを浮かべながらも、手には奉仕団の証でもあるエプロンがしっかりと握られていました。

「『おいしいトン汁ごちそうさま、遠くからご苦労さまです』との言葉には涙が出るようでした」と話すのは、北山1区の星玲子さん。11月9日、新潟県中越大地震の震源地となった小千谷市に北塩原村赤十字奉仕団の一員として赴き、トン汁を提供した際、避難所生活を余儀なくされた方から言葉を返されたときの様子を紹介していただきました。玲子さんは、大塩大火(昭和42年)の直後、大塩地区の田植え作業の手伝いを行った体験をお持ちです。「大塩大火の際には新潟県の方に相当お手伝いいただいたということも聞いていましたので、地震の直後から少しでも役に立てればと考えていました」と救援活動に出向いた際の心情を話してくれました。

北塩原村に赤十字奉仕団が設立したのは平成3年12月、今からちょうど13年前のことです。村奉仕団が設立される以前から、玲子さんは奉仕の志を持っていらしたようです。「きっかけは国立磐梯青年の家で受けた婦人教育です。研修会ですが、県下から集まった仲間、多方面で活躍してこれた先輩方と話しを深めるうちにボランティアの大切さが身にしみて」と話します。この研修会受講者で組織するのが「磐青(ばんせい)の会」。この会に加入していた本村会員のほか民生委員の計21人により北塩原村赤十字



▲農作業が一段落する冬限定で取り組む書道は漢字2段の腕前。この冬は「かな2段」取得にチャレンジするそうです

村民限定

ラビスパ裏磐梯の入場料が半額

お得な「前売入場券」をお求め下さい!!

1,500円券10枚綴り(15,000円分)を7,500円で販売

500円券20枚綴り(10,000円分)を5,000円で販売

区分	“前売入場券”利用	通常利用
プール・大浴場・休憩室等利用	半額! 750円	1,500円
大浴場・休憩室等利用	半額! 250円	500円

※前売入場券がないと村民の方でも通常利用料金になります。

年末年始は休まず営業

ラビスパカレンダーでは、12月29日(水)は休館日と案内していましたが、休まず営業します。

ご確認ください!

ラビスパ裏磐梯では、オープン時より各種券を発行しておりますが、有効期限の入っていないものは、平成17年3月31日までのご利用とさせていただきます(会員券・法人券を除く)。

■問い合わせ先 ラビスパ裏磐梯 ☎ 33-2200 Eメール info@laviespa.com

年末年始の楽しいイベントもいっぱい用意しております(別途チラシ案内します)。

2割もオトク!

3施設共通クーポン販売します!

入場料や施設内での買い物(特産物・農産物・お食事など)すべてにご利用でき、大変便利です。

10,000円券で  
⇒ 12,000円分利用  
5,000円券で  
⇒ 6,000円分利用

